

ディープリサーチ・チャイナ・ファンド (愛称：翡翠探訪)

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第29期 (決算日 2021年2月25日)
(作成対象期間 2020年8月26日～2021年2月25日)

第29期末 (2021年2月25日)	
基準価額	13,897円
純資産総額	335百万円
(2020年8月26日～2021年2月25日)	
騰落率	32.1%
分配金合計	300円

(注1) 以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ディープリサーチ・チャイナ・ファンド(愛称：翡翠探訪)」は、このたび、第29期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として大中華経済圏の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

照会先

ホームページアドレス：<http://www.fivestar-am.co.jp/>

お客様デスク：03-3553-8711

(受付時間：委託会社の営業日の午前9時～午後5時まで)

ファイブスター投信投資顧問株式会社

東京都中央区入船1-2-9 八丁堀MFビル8階

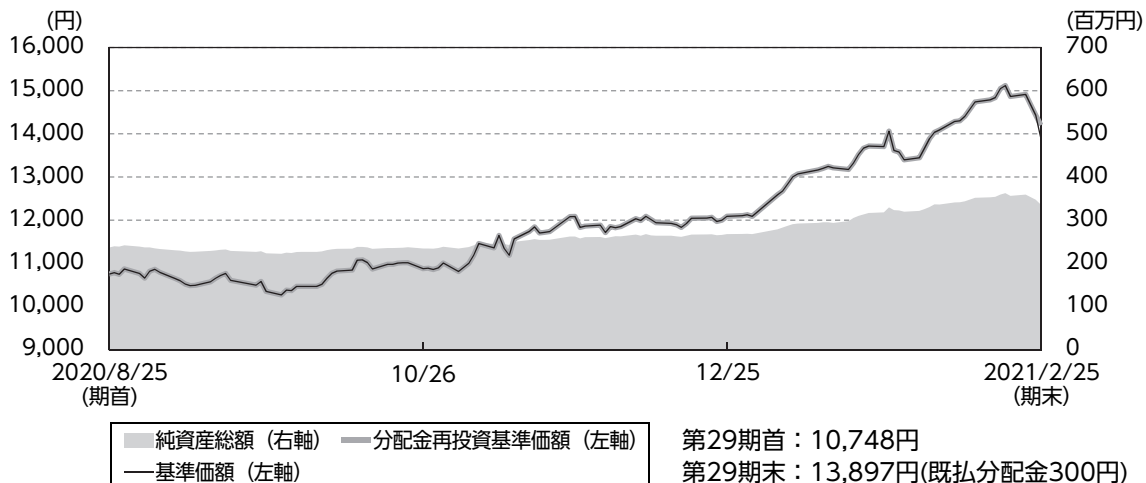
当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記PCサイトにアクセスし、「ファンドを検索する」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

[運用報告書の表記について]

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率および騰落率は小数点第2位または小数点第2位未満を四捨五入しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値について小数表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

★運用経過

☆基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年8月25日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

☆基準価額の主な変動要因

(プラス要因)

- ・ 2020年10月：半導体などのハイテク関連企業の業績回復期待のほか、深セン経済特区40周年記念大会で習近平国家主席の演説や、10月26日に開催された五中全会（中国共産党の重要会議「党中央委員会第5回全体会議」の略称）などに対する政策期待が高まったこと
- ・ 2021年2月：中国や香港での新型コロナウイルス新規感染者数の減少を受け、中国衛生当局が警戒レベルを一番低い「低リスク」に引き下げたことや、香港政府が新型コロナウイルス感染対策の各種規制を約2ヵ月半ぶりに緩和したことなどから、経済正常化への期待感が高まったこと

(マイナス要因)

- ・ 2020年9月：米政府が、中国・新疆ウイグル自治区の企業6社からの製品輸入の禁止措置を講じると報じたことに対し、中国政府では、中国の国家主権や安全保障を脅かす信頼できない外国企業のリストの作成に着手し、こうした米中対立の深刻化が懸念されたこと
- ・ 2021年1月下旬：米国による中国企業への制裁強化で、中国の通信大手3社を米国市場における上場廃止を決定したことや、トランプ米大統領が「アリペイ」などの複数の中国決済アプリとの取引を禁じる大統領令に署名したことなどから、米中関係の先行き不透明感が嫌気されたこと

☆ 1 万口当たりの費用明細

項目	第29期		項目の概要
	(2020年8月26日～2021年2月25日)		
	金額(円)	比率(%)	
(a) 信託報酬	79	0.69	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は11,584円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(37)	(0.32)	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(販売会社)	(39)	(0.34)	
(受託会社)	(3)	(0.03)	
(b) 売買委託手数料	-	-	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(投資証券)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(先物オプション)	(-)	(-)	
(信用)	(-)	(-)	
(投資信託受益証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、交付目論見書・交付運用報告書等の作成・印刷・送付に係る費用 その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料
(株式)	(-)	(-)	
(投資証券)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(先物オプション)	(-)	(-)	
(信用)	(-)	(-)	
(投資信託受益証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	31	0.26	
(保管費用)	(0)	(0.00)	
(監査費用)	(19)	(0.16)	
(印刷費用)	(12)	(0.10)	
(その他)	(0)	(0.00)	
合計	110	0.95	

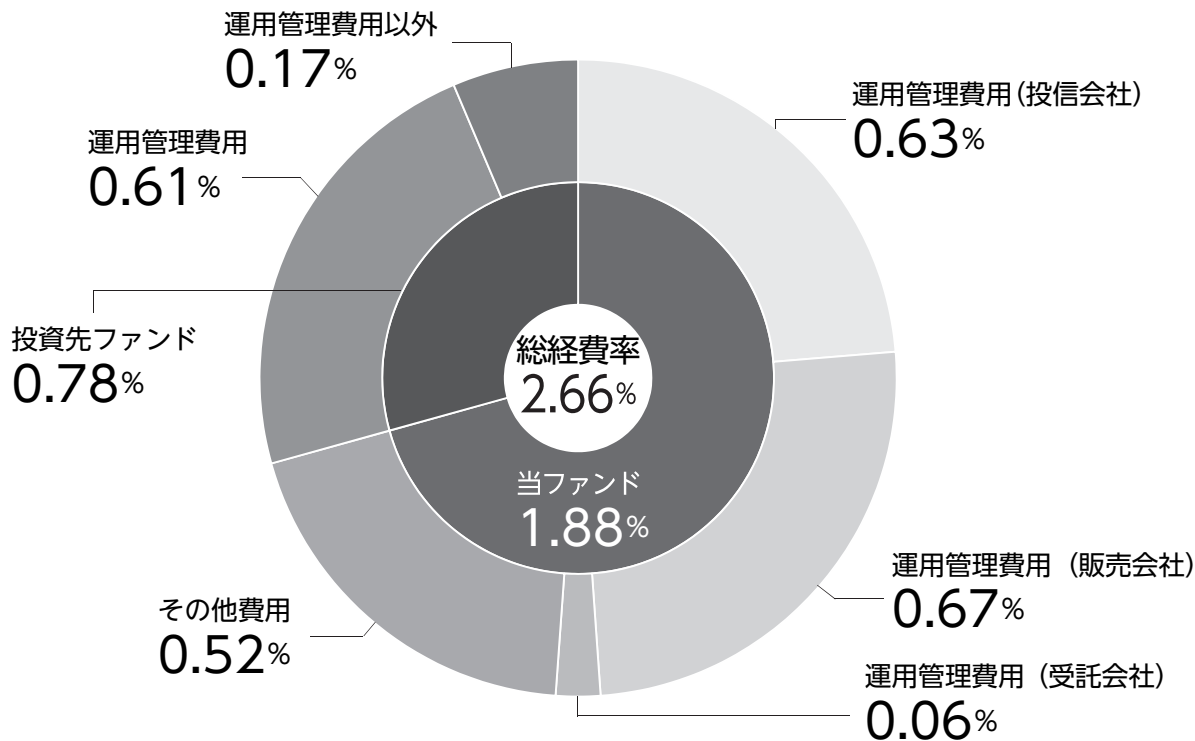
(注1) 期中の費用(消費税にかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.66%です。



総経費率 (①+②+③)	2.66%
①当ファンドの費用の比率	1.88%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.61%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

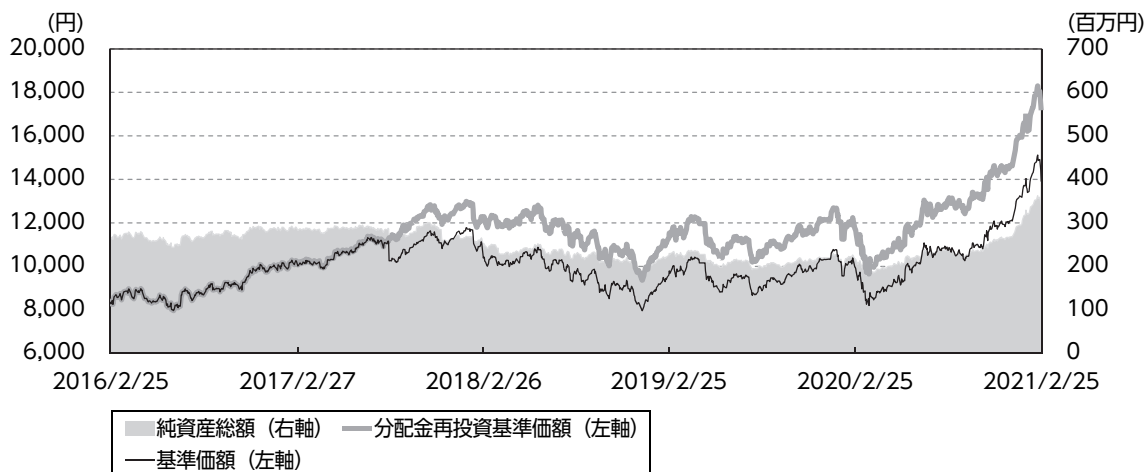
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

☆最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2016年2月25日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2016年2月25日 決算日	2017年2月27日 決算日	2018年2月26日 決算日	2019年2月25日 決算日	2020年2月25日 決算日	2021年2月25日 決算日
基準価額（円）	8,371	10,023	10,387	9,602	9,978	13,897
期間分配金合計（税込み）（円）	—	50	1,700	0	0	600
分配金再投資基準価額騰落率（％）	—	20.3	21.4	△7.6	3.9	46.3
純資産総額（百万円）	266	282	247	225	217	335

※騰落率は1年前の決算応答日との比較です。

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

☆投資環境

(期初2020年8月26日～期末2021年2月25日)

当期における中国株式市場を代表する株価指数であるMSCI China Index（香港ドル・ベース）は+18.98%の上昇となりました。また、香港ハンセン指数（香港ドル・ベース）が+16.31%と、共に上昇となりました。主な投資対象国の通貨である香港ドルの当期間における推移は、変わらずの推移となりました。（※為替市場の表記は、対円騰落率とし、投資信託協会が公表する仲値を使用しています。）

当期における中国株式市場は、期初の9月では米中対立の深刻化懸念が警戒されたことに加え、米国のハイテク関連株を中心とした世界的な株価下落などの影響を受けて下落しました。米政府が、中国の半導体受注生産メーカーの一部企業との取引規制を検討すると報じたことや、一方、中国政府では、中国の国家主権や安全保障を脅かす信頼できない外国企業のリストの作成に着手するなど、米中対立の深刻化懸念が嫌気される展開となりました。10月に入ると、半導体などのハイテク関連企業の業績回復期待のほか、深セン経済特区40周年記念大会で習近平国家主席の演説に対する政策期待の高まりなどから上昇に転じる推移となりました。世界的に株価が下落する中、10月26日に開催された五中全会（中国共産党の重要会議で「党中央委員会第5回全体会議」の略称）における政策期待が相場を支える格好となりました。11月には、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が勝利し、米中関係の改善期待や、新型コロナウイルスのワクチン開発報道が相次いだことによる経済正常化期待の高まりなどが追い風となり騰勢を強めました。その後は、新型コロナウイルスの世界的な新規感染者数の急拡大傾向などが重荷となり、12月末までは上昇に勢いを欠く一方で、各国主要中央銀行の景気配慮型の金融緩和姿勢が相場を下支えする格好となりました。2021年の1月では、米国で民主党が大統領、上下院の全てを制する「トリプルブルー」となったことで、米政府の追加経済対策への期待感などから世界的に株価は堅調な推移となりました。しかし、米国による中国企業への制裁強化で、中国の通信大手3社を米国市場における上場廃止を決定したことや、中国国内での新型コロナウイルス感染者数が5ヵ月ぶりに高水準となったことで都市封鎖などの防疫措置を強化したことなどが嫌気され、1月末にかけては下落となりました。2月の中旬にかけては、米国の1.9兆ドル規模の追加経済対策への期待感や、ワクチン投与のペースが加速している状況などが好感され上昇しました。しかし、次第に米長期金利が上昇し、割高感が意識されやすいハイテク関連株を中心に米国株式市場の急落を受け、中国を含むアジア株式市場もつられて下落する展開となりました。中国や香港での新型コロナウイルス新規感染者数の減少を受け、中国衛生当局が警戒レベルを一番低い低リスクに引き下げたことや、香港政府が18日から新型コロナウイルス感染対策の各種規制を約2ヵ月半ぶりに緩和したことなどから、経済正常化への期待感から底堅く推移するも、当期末にかけては、米国債利回りの一段の上昇をきっかけとした米国株式市場の急落などが重荷となり、上げ幅を縮小する推移となりました。

☆当該投資信託のポートフォリオ

○当ファンド

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。アイルランド籍の「Value Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fund」と「ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）」の2つの投資信託証券を主要投資対象とし、期を通して、運用方針に定める基本資産配分比率を維持して運用を行いました。期末時点で、「Value Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fund」の組入比率は95.5%、「ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）」の組入比率は0.2%となりました。

○Value Partners Ireland Fund Plc – Value Partners Classic Equity Fund

バリュース・パートナーズ・ホンコン・リミテッドが運用するValue Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fundへの投資を通じて大中華圏（中国、香港、台湾、シンガポール等）の株式およびわが国の公社債への投資を行いました。企業の財務諸表の分析によるだけではなく、実際に企業を訪問し、その工場、生産ライン、製品、販売先等の実地調査を徹底的に行うことにより、「優良でありながら、市場に認知されておらず、割安に放置されている企業」を発掘し、企業訪問は自社アナリストにより行われ、その企業数は年間約2,500社に及ぶ中から本質的価値に焦点をあて、徹底的なリサーチに基づき、ポートフォリオへ組み入れる銘柄と比率を決定し運用を行いました。

○ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け) (注)

- ・作成期間を通してマザーファンド受益証券を高位に組み入れました。
- ・マザーファンドの債券組入比率は、設定・解約時を除いて高位で推移させました。
- ・マザーファンドでは公社債を中心に、5銘柄程度でポートフォリオを構築しました。

(注) ユナイテッド日本債券マザーファンドを主要投資対象とします。

☆当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

☆分配金

分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第29期	
	2020年8月26日～2021年2月25日	
当期分配金 (円)	300	
(対基準価額比率) (%)	(2.11)	
当期の収益 (円)	300	
当期の収益以外 (円)	-	
翌期繰越分配対象額 (円)	4,708	

(注1) 「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

★今後の運用方針

当ファンドは、今後も従来の運用方針を継続します。バリュー・パートナーズ・ホンコン・リミテッドが運用するValue Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fundへの投資を通じて大中華圏（中国、香港、台湾、シンガポール等）の株式およびわが国の公社債への投資を行います。徹底的なリサーチに基づき、ポートフォリオへ組み入れる銘柄と比率を決定し運用を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。基本資産配分比率は、原則として、Value Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fundへ90%以上の組入れ、ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）へ10%未満の組入れですが、低金利の環境下においては積極的にValue Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fundへの組入れ比率を高める方針です。

★お知らせ

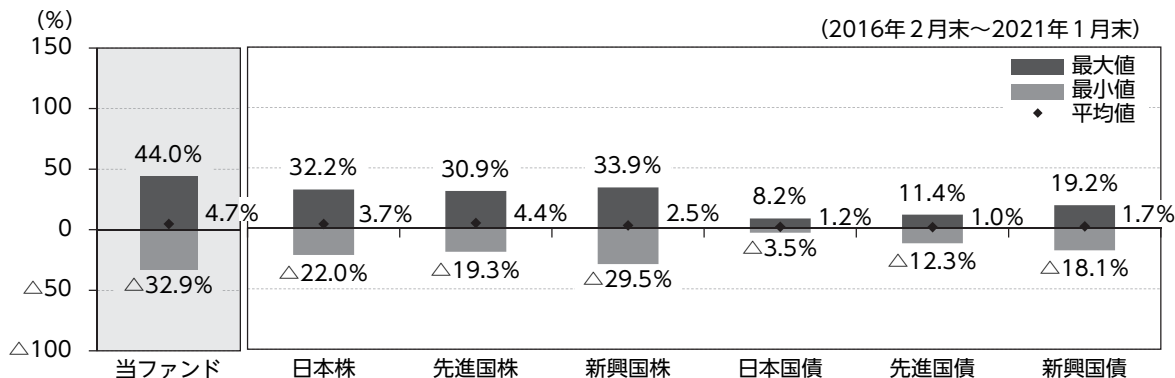
該当事項はございません。

★当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2006年10月31日から無期限	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として大中華経済圏の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	下記の投資信託証券を投資対象とします。	
	Value Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fund	バリュー・パートナーズ・ホンコン・リミテッドが運用するアイルランド籍外国投資信託（米ドル建て）
	ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）	あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社が運用する追加型証券投資信託
組入投資信託証券の運用方法	Value Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fund	<ul style="list-style-type: none"> ・大中華経済圏の株式にバリュー投資手法を用いて分散投資を行い、信託財産の中長期的な運用を行います。 ・大中華経済圏（香港、中国、台湾、シンガポール等）の株式市場において公開されている株式で、かつ、大中華経済圏において大半の資産を有するか、大半の収益を得ているか、または事業を行っている企業の株式を主要投資対象とします。
	ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）	<ul style="list-style-type: none"> ・ユナイテッド日本債券マザーファンドを通じて、実質的にわが国の公社債に投資を行います。 ・マザーファンドはNOMURA-BPI総合指数を上回る運用成果を目指します。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2月および8月の各25日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託者が基準価額水準・市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。 ・収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。 	

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。ファンド・オブ・ファンズ方式とは、ファンドの信託財産を主に他のファンドに投資する仕組みで、一般社団法人投資信託協会の定める商品分類において、「主として投資信託証券に投資するもの」をいいます。

★代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについては、2016年2月～2021年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値、最大値、最小値を表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されておりますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注4) 各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

TOPIXとは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

日本国債：NOMURA－BPI国債

NOMURA－BPI国債とは、野村證券株式会社が発表している我が国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債のほか、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA－BPI国債は野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合投資収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、商標権、その他知的財産権はすべてFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス（円ベース）

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、主要新興国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、商標権、その他知的財産権はすべてFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※ 先進国株ならびに新興国株については米ドルベースのため、Bloomberg L.P.（ブルームバーグ・エル・ピー）が提供する円換算の指数を表示しております。

★当該投資信託のデータ

☆当該投資信託の組入資産の内容

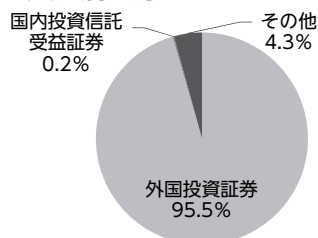
○組入ファンド

ファンド名	当期末
	2021年2月25日
Value Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fund	95.5%
ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）	0.2%
その他	4.3%
組入銘柄数	2ファンド

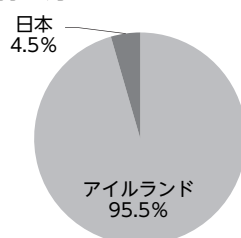
（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

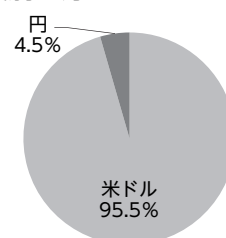
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

（注2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注3）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

☆純資産等

項目	当期末
	2021年2月25日
純資産総額	335,753,608円
受益権総口数	241,609,849口
1万口当たり基準価額	13,897円

（注）当期間中における追加設定元本額は57,298,891円、同解約元本額は35,649,535円です。

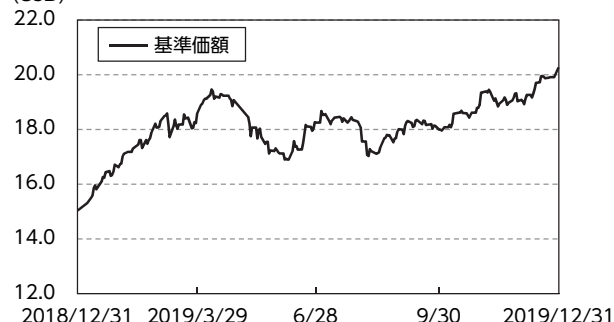
☆組入ファンドの概要

Value Partners Ireland Fund Plc - Value Partners Classic Equity Fund (2019年1月1日～2019年12月31日)

※当ファンドは複数のシェアクラスから構成されております。基準価額の推移を除いて以下の内容は全てのシェアクラスを合算したものです。

○基準価額の推移

(USD)



(注) 現地基準日ベース

○費用明細 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(単位:米ドル)

項目	期末
	2019年12月31日
投資運用報酬	1,286,619
管理報酬	113,651
預託費用	80,753
その他の費用	154,553
費用合計	1,635,576

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資証券全体の金額を表示しています。

○組入上位10銘柄

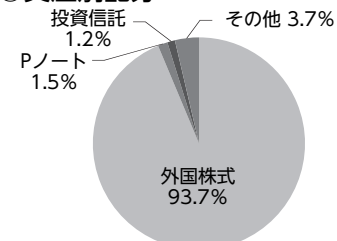
順位	銘柄名	国(地域)	比率
1	Meituan Dianping	香港	8.38%
2	Alibaba Group Holding Ltd	香港	6.58%
3	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	台湾	5.90%
4	Kweichow Moutai Co Ltd A SHARES (SHHK)	中国	3.72%
5	Largan Precision Co Ltd	台湾	3.56%
6	China Construction Bank Corp H SHARES	香港	3.15%
7	Techtronic Industries Co Ltd	香港	2.91%
8	MediaTek Inc	台湾	2.75%
9	Alibaba Group Holding Ltd ADR	米国	2.71%
10	Industrial & Commercial Bank of China Ltd H SHARES	香港	2.14%
組入銘柄数		61銘柄	

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

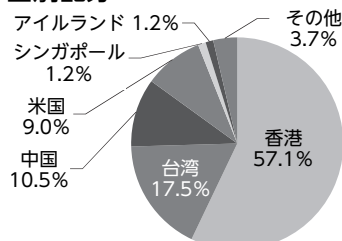
(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

○資産別配分



○国別配分

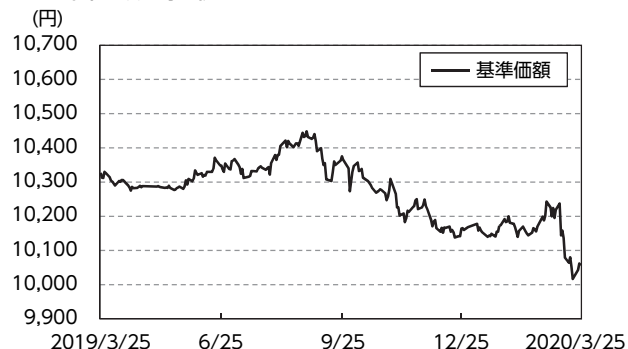


(注1) 上位10銘柄、資産別・国別配分のデータは2019年12月31日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

ユナイテッド日本債券ベビーファンド (適格機関投資家向け) (2019年3月26日~2020年3月25日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2019年3月26日~2020年3月25日)

項目	当期金額
信託報酬 (投資信託会社) (販売会社) (受託会社)	22円 (11) (2) (9)
その他の費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	153 (ー) (67) (ー) (86)
合計	175

期中の平均基準価額は、10,290円です。

(注) 項目等詳細につきましては運用報告書 (全体版) に記載しております。

○組入上位10銘柄

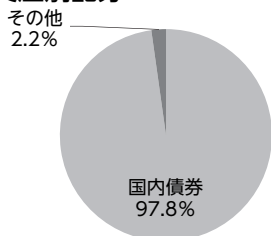
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	第127回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	33.7%
2	第145回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	16.9%
3	第130回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	16.8%
4	第87回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	16.1%
5	第319回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	14.4%
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			5銘柄		

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

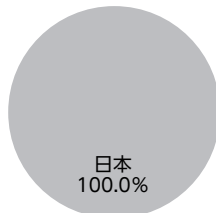
(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

(注3) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

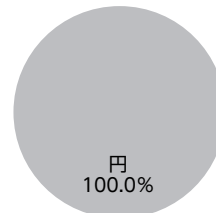
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、「ユナイテッド日本債券マザーファンド」の決算日 (2020年3月25日) 現在のものです。当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。(比率は純資産総額に対する評価額の割合)

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。